

「赤城会館まつり」

毎月、当会の「委員会一集会」に使用している「赤城生涯学習館」の年に一度のイベントです。

この会館使用サークルの、日ごろの「成果発表会」といったところでしょうか。

毎年一度なのですが、昨年は秋に会館の耐震工事後行われたため、昨年度分が今年の3月にずれ込みました。

当会の「赤城まつり」への参加は、90周年誌を見ますと、私の入会する以前の2007年、2008年、2010年、2011年と4回あったようです。

その後、2018年度分として、今年の3月に7年ぶりに参加しています。

参加者は、この会館使用グループとそのお友達・家族が多いようで、一般の方は少ない気がしています。

実際に、このまつり展示を通じて、入会された方は、これまでにはいなかったと思います。しかし、「東京アルコウ会」のコンセプトが、昨年度より登山から、「低山・日帰りハイキング」中心に大きく変貌していきました。

こうした中で、この「まつり」への参加意義も大きくなっていくものと思われます。

当会が目標とする、中高年を中心とした「健康ハイキング」は、今後自然を愛する多くの一般人に求められるようになっていくものと思われます。

今年度の「赤城会館まつり」は、教養室Aの西側に「東京アルコウ会」のブースを設けました。

19日（土）は、午前中の小雨もあって来館者は少なめでしたが、20日（日）は結構とにぎわいました。

今回は、テーブル上に「ドングリ」等の「自然の恵み」を展示し、これまでとは違った趣になったと思いますが、如何でしょうか。

18日（金）の準備会（設定）も含め、会の皆さまには協力（説明）、参観等していただきました。

今後、多く皆様の入会を期待し、またこれが「会の活性化」につながるものと確信しています。

